



## キャリア教育について

校長 吉田 亘

平成26年度も1ヶ月半過ぎた。1年生は、やっと田高の生活に慣れてきたところだろうか。2年生は、進級し部活動や行事などで新たな目標ができていけるだろうか。3年生は、体育祭準備を行いながら、卒業後の自分の進路について具体的に考えていると思う。今年度は、学習指導面で、1、2年生の土曜日マルチ演習、3年生土曜講習、1年生の宿泊研修（スタディキャンプ）など新たな取り組みも行い、また、昨年度に引き続きサテライン講習も始まる。

これらの取り組み以外に、昨年度まで1、2年生の2年間を通して実施した教科「奉仕」を1年生の1年間で「人間のあり方生き方を考える新教科」（以下「新教科」として実施する。新教科は、次年度から全校導入される新たな取り組みで、本校は先行実施校に指定された。内容としては、「奉仕」の内容に「キャリア教育」を付加して、卒業後の自分の進路や将来の自分の生き方について考えることを中心としている。

「キャリア教育」という言葉は、平成11年に初めて公式に使われた。当時は、ニート、フリーターの増加が社会問題となっており、学校教育における職業観、勤労観の育成が問われていた。それから15年が経過し、現在では、さらに、リストラ、若者の離職、非正規雇用の増大、今後は、労働人口の減少と外国人労働者の増加、日本社会のグローバル化など、社会状況や雇用情勢は変化していく。その中で、自分の生き方をどう選択し、どう社会と関わっていくかが問われ、そのための力を学校教育の中で培っていくことが求められている。

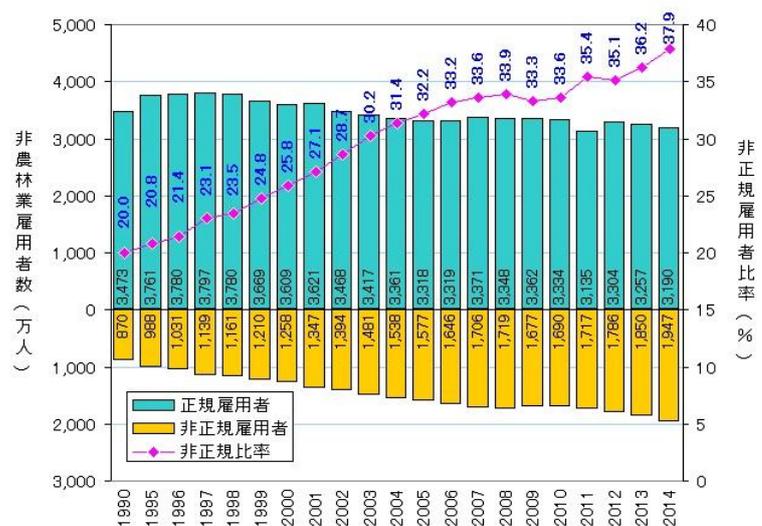
キャリア教育では育成すべき力を「基礎的・汎用的な能力」と呼び、**コミュニケーション能力、自ら考え主体的に行動する力、課題を自分で発見し計画的に解決していく力、社会に関わりながら多様な生き方の情報選択をし社会貢献する力**などとしている。

田高では、まだキャリア教育という考え方が提唱されたばかりの平成13年度に「田高進路プロジェクト」として、積極的・計画的に社会人講演や大学研究などに取り組んできた。平成14年度には、「進路指導充実推進校」に指定され、取り組みを強化した。そして、それが継承され現在に至っている。（詳細は、HPや進路資料「SUCCESS」参照）

学校教育は、まず、教科における基礎・基本の習得である。教科の学習を疎かにして「基礎的・汎用的な能力」を育成することはできない。その上で、さらに田高生に求められることは、「奉仕」「進路プロジェクト」等を通じて、地域社会や大学に関わる体験を重ねること、自ら調査し情報選択をすること、行事・部活などを大切にすして周囲と共同する力をうことである。

1年生の「新教科」では、今までの「奉仕」「進路プロジェクト」に加えて、大学についての研究や体験など、高校1年生の段階での将来設計の足がかりがつかめるような取り組みを行う。2年生、3年生は、伝統の「進路プロジェクト」を継続するが、進路に対する高い目標設定とその実現に向けた計画的な学習を行ってほしい。

正規雇用者と非正規雇用者の推移



## 生徒のみなさんへ ～「想像・創造」すること～

副校長 野村悟

「そうぞう」ということ。

5月8日の防災訓練の際に、体育館で生徒の皆さんにお話ししたキーワードです。

災害発生時の緊急時の際、それは発生してほしくないとも最も強く願っている時なのですが、生徒のみなさんには、自らの安全を確保するとともに、周囲の人たちや地域社会の安全に貢献できる力が期待されています。そのことは、様々な自然災害などでも実際に高校生が救援活動や救護活動に尽力したことについて報道されていることからわかる通りでしょう。

果たして災害発生時の緊急の際、みなさんならばどうするのか？

講評の中で少しだけ触れましたが、稿者は14年前の平成12年7月、震度6という大きな地震を体験しました。その時、偶然立っていた50メートル先の山が大きく崩落していく光景を目の当たりにして、当時の稿者は何ができたのか……そしてその後どう行動したのか……それは当時の新聞で報道され、体育館に緊急集合し、緊張した面持ちの生徒の写真とともに自分の姿が残っています。

こういった自然災害関連の事象を接するたびに、古代中国の『淮南子』という書物のある寓話を想起します。その寓話とは、蒼頡が文字を作ったときに「天は粟を降らし、鬼は夜哭し、龍は飛び去る」というものなのです。文字の生成は、文化の前進を表し、混沌としたカオスの世界から、秩序のコスモス界に移行したことを意味します。つまり文明化が生起し、世界はカオスからコスモスへと移行するのです。そのことにより、人と共に生きていた鬼や龍は、この地上に生きていく立場を喪失し、自分の存在さえ見出しにくくなるという話なのです。この『淮南子』は、ある意味での警告の書、つまり文明化による弊害、忠告の書とも読めます。この書が書かれた紀元前の時代性を考えても実に興味深いところで、論理的に頭で考える部分と心の奥底で感じる部分とについて考えさせられるのです。

さて、話を元に戻します。いざという時、自分がどう行動できるのか……それは日々の時間の中で培うしかないと思います。予測力、回避力、思考力、行動力などなど、それらを含めて「想像・創造」というキーワードに集約させました。

訓練はあくまでも訓練に過ぎませんが、その時間の中で何を「そうぞう」するのかということだと考えます。

次回の訓練は7月10日の予定です。ぜひその時まで一人ひとりで考えてもらいたいと思います。

## 体育祭に向けて

生活指導部 手塚 登

5月は21日(水)から中間考査が予定されており、それが終わると6月7日(土)の体育祭に向けて、校内はいつせいに動き出すこととなります。3年生は最後の体育祭を迎え、それなりの自覚を持って取り組んでくれることを期待します。2年生は、中堅学年として来年の体育祭に向け、たくさんのことを進んで吸収してくれることを願います。そして、1年生は、入学後最初の大きな学校行事として、楽しみながら田高の伝統を身につけてほしいと思います。

さて、体育祭という全校をあげた行事を迎えるに当たって、改めて自己点検してほしいことが1つあります。それは高校生として身につけてほしい力のひとつである、自己管理能力のことです。田高生の現状を見ると、実際には、それが不十分な気がします。そのために、残念なことですが、盗難が発生している事実があります。

生活指導部としては、とにかく鍵がかかるロッカーに貴重品を入れるか、自分で肌身離さず持っていることを注意喚起しています。体育祭を迎えるに当たっては、巡回・教室の施錠等を徹底したいと思いますが、まずは貴重品の自己管理・自己防衛が基本です。2・3年生の廊下にあるロッカーを見ると、現状では、鍵がかかっていないロッカーが大多数です。

保護者の方へのお願いです。学校のロッカーに鍵をかけているかどうか、お子様と話を確認してみてください。その上で、ロッカーに鍵がないようでしたら、この機会に鍵をつけさせてください。

なお、生活指導部では、今後、盗難が発生した場合には、本人と保護者の方にも協力していただいて、警察に原則として盗難届けを出すことにしたいと思います。調書の作成等に結構な時間を要する等、時間がかかりますが、ご協力をお願いします。

## 今年度の進路状況について

進路指導部 逢坂 範彦

今春卒業した62期生の進路決定状況を報告します。

	大学	短大	専門その他	就職	未定・浪人	留学	計
男子	66	0	10	4	27	1	108
女子	79	11	15	1	10	0	116
計	145	11	25	5	37	1	224
(%)	64.7%	4.9%	11.2%	2.2%	16.5%	0.4%	

(注) 就職女子1名は、水産大学校。

4年制大学現役合格者の受験形態について

	指定校推薦	公募推薦	AO	センター	一般	計
男子	9	4	1	42	97	153
女子	19	8	7	33	74	141
計	28	12	8	75	171	294

ほぼ前年度とかわらぬ受験結果となりました。詳しくは、後日配布の「SUCCESS!」をご覧ください。  
また、3年生(63期生)の4月時点での進路の第1希望状況は、以下のようになっています。

	第1希望	H26(63期生)		H25(62期生)		H24(61期生)	
		実数	割合	実数	割合	実数	割合
1	4年制大学文系	142	62.6%	135	60.0%	133	57.1%
2	4年制大学理系	63	27.8%	56	24.9%	54	23.2%
3	大学校等	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%
4	短期大学	3	1.3%	9	4.0%	8	3.4%
5	専門学校	12	5.3%	10	4.4%	27	11.6%
6	専門学校(看護)	3	1.3%	6	2.7%	5	2.1%
7	公務員	4	1.8%	3	1.3%	1	0.4%
8	民間就職	0	0.0%	2	0.9%	2	0.9%
9	その他	0	0.0%	3	1.3%	3	1.3%
	計	227		225		233	

比較のため、直近の3年間の希望状況も載せておきました。

こちらも例年同様で、大きな変化は見られません。

進路指導部は、皆さんの進路実現に向けて協力していきます。皆さん、進路室を大いに活用して自らの自己実現を図ってください。

## 65期生を迎えて

1学年 荻原 秀明

65期生を迎えて、1学期も中程になりました。初めての考査が実施されます。第1回DSCスタディキャンプ実施されました。5月1日2日潮来に行き、ほぼ一日勉強のみの時間を過ごしました。内容は、講義が2講座(計画的な生活の仕方・目標に向けた勉強方法の見つけ方)、学習計画、自主学習です(国語、数学、英語)。そして、確認テスト(各教科30分)の実施となりました。また、ひとりひとりに学習手帳を配布しました。また、4月当初の実力テストの結果をまじまじと見ながら、自己分析の方法も学びました。帰りがけに、佐原の街並みの自由散策で一息つき東京へ戻りました。生徒の様子は、誰もが勉強をしっかりと行っていました。生徒のアンケート結果では、勉強した。楽しかったとまずまずの評価を得ました。体育祭やぼろ祭に向けた取り組みが始まります。

## 2学年のスタートです。

2学年 有馬 聡

早いもので2学年に進級してから2ヶ月近くが経過しました。5月2日には遠足、12日からの週には個人面談、21日からは中間考査が行なわれました。この後、6月7日には体育祭が予定されています。

遠足では、東京の各所をめぐり、多くの生徒達が新しいクラスメートとの親睦を深め、また、さまざまな新しい発見をしたり、いろいろな思い出を作ったりすることができたようです。

個人面談では、A組では多くの生徒が高校生活は楽しいと答えました。ただし、何が楽しいのかと詳しく尋ねると、その多くは休み時間などに友達と過ごす時間が楽しいと答えました。残念ながら授業や勉強が楽しいと答える者は少数派です。友達と楽しい時間を過ごすことはもちろん大切ですが、できればもっと積極的に勉強を楽しんでほしいと思います。また家庭での学習時間が確保されていない者も多く、考査前以外は家では全く勉強しないという者さえいました。高校2年生になったばかりで受験までにはまだ時間があるといった安心感や、部活動に忙しくて帰宅すると疲れ果てて寝てしまうといった理由があるようですが、それにしても家庭での学習時間の少ない者が多いように思います。さすがに考査前や考査中は机に向かう時間も多くなることと思いますが、保護者の皆様にもご家庭での勉強時間の確保にお力添えを願いたいと存じます。

2年生の1年間は高校生活の中でも最も充実した1年間です。体育祭やぼろにあ祭では田高生の中核となります。昨年の経験を生かしてどれだけ活躍できるかで、64期生の真価が問われます。合唱祭においては2年生が中心となって運営することが求められます。部活動も同様で2年生が活動の中心となります。また夏季休業中には勉強合宿が、秋には修学旅行があります。

模擬試験も具体的に志望校を書き入れ、判定が出るようになります。結果に一喜一憂する必要はありませんが、それぞれの模試の結果を自分できちんと分析し、自己の弱点をどのように補うのかを考えることが大切になります。大学入試においては得意な分野を伸ばすことも必要ですが、それ以上に弱点を作らないということが重要になります。

未来は独立してあるものではなく、現在の延長線上にあるのですから、今のこの毎日の積み重ねが未来の自分を作ります。その未来のために、この1年間、様々な経験を積み重ねていってほしいと願っています。

## 5月2日遠足 ～鴨川シーワールド～

3学年 荒井 章子

3年生は、5月2日に遠足で鴨川シーワールドへ行ってきました。バスを使うため、道路の混雑も考えて朝7時半という早い集合時間となりましたが、ほとんどの生徒が時間までに集合し、予定通りに出発しました。バスでの遠足は1年生のマザー牧場遠足以来です。2年前は大雨でせっかくの房総の景色も今ひとつでしたが、今回は、晴天で、美しい青い海を見ることができました。鴨川シーワールド園内ではペルーガ、イルカ、アシカなどの動物のショーが行われていましたが、何と言っても一番の見所は、シャチのショーです。大きなシャチがジャンプするパフォーマンスは迫力満点で、客席前列の生徒たちは水しぶきでびしょ濡れになりながら、楽しんでいました。昼食は、シーワールドホテルでのランチバイキング。生徒の好きなニューがいっぱいでした。心配された帰り道の渋滞もなく、16時頃無事に帰着しました。高校生活最後の遠足は、天気にも恵まれ、思い出に残る楽しい一日となりました。クラス替えをして間もないクラスの緊張も和らぎ、クラスの親睦を深めることができました。



総務部より

来る6月7日(土)本校グラウンドにおきまして体育祭が開催されます。今年も熱い田高生の姿をご覧ください。

当日雨天の場合は6月10日(火)に延期いたします。

～6月の予定～

6月16日(月)授業公開週間

6月20日(金)・21日(土)宿泊防災訓練(1年)